

目次

5FU+CDGP	1
5FU+CDDP+Pembrolizumab	2
Atezolizumab+Bev	3
ベバシズマブ+FOLFIRI	4
ベバシズマブ+IRIS	5
ベバシズマブ+mFOLFOX6	6
ベバシズマブ+S-1	7
ベバシズマブ+ s LV5FU2	8
ベバシズマブ+UFT+LV	9
ベバシズマブ+XELIRI	10
ベバシズマブ+XELOX	11
ベバシズマブ+トリフルリジン	12
biweeklyアービタックス+FOLFIRI	13
biweeklyアービタックス+mFOLFOX6	14
2 外 Biweekly CPT-11+CDDP	15
CDDP+ 5 FU	16
アービタックス+mFOLFOX6	17
2 外 CPT-11+CDDP	18
2 外 CPT-11+TS-1併用療法	19
DCF	20
DCS（進行・再発）	21
2 外 DOC+CDGP	22

DTX+CDGP併用療法	23
Durvalumab維持療法	24
Durvalumab単剤	25
Durvalumab+GC	26
FOLFIRI	27
FOLFIRI+aflibercept	28
FOLFIRINOX療法	29
2 外 FP(肝動注)	30
GCS	31
GEM+タルセバ	32
GEM3投1休+TS-1 (隔日)	33
IRIS	34
Low dose FP (CRT)	35
low-dose FP	36
modified FOLFIRINOX療法	37
m FOLFOX6	38
modified FOLFOX (膀胱癌)	39
nal-IRI+FU/LV	40
Nivolumab+SOX (L-OHP:100mg/m ²)	41
Nivolumab+SOX (L-OHP:130mg/m ²)	42
Nivolumab+XELOX (L-OHP:100mg/m ²)	43
Nivolumab+XELOX (L-OHP:130mg/m ²)	44
Nivolumab(240mg)+5FU+CDDP	45
Nivolumab(480mg)+5FU+CDDP	46

ベクティビックス+FOLFIRI	47
ベクティビックス+mFOLFOX6	48
RAM+nab-PTX	49
S1+CDDP(short hydration)	50
S-1+ドセタキセル療法（術後補助化学療法）	52
S1+CDDP	53
S-IROX	53
s LV5FU2	55
2外 SLOG	55
SOX	56
ベバシズマブ+SOX	57
SOX100+トラスツズマブ	58
SOX130+トラスツズマブ	59
ストレプトゾシン+ 5FU	60
トラスツズマブ デルクステカン	61
triweekly アブラキサン	62
triweekly DTX	63
triweekly アブラキサン	64
トレメリムマブ+デュルバルマブ併用療法	65
2外 TS-1+ドセタキセル療法	66
weekly アブラキサン	67
Weekly CPT-11	68
weeklyパクリタキセル療法	69
Xeloda+CDDP	70

XELOX	71
XELOX	72
XELOX+Trastuumab	73
XELIRI	74
XP (Xeloda+CDDP) +ハーセプチン	75
アービタックス	76
アービタックス+FOLFIRI	77
アービタックス+biweekly CPT-11	78
アービタックス+CPT-11	79
2外 アイソボリン／5-FU 動注併用	80
2外 アイソボリン／5-FU	81
2外 アイソボリン／5-FU／CPT-11 動注併用	82
2外 アイソボリン／5-FU／CPT-11	83
アブラキサン+ゲムシタビン療法	84
ザノサー	85
GEM2投1休+TS-1併用療法	86
2外 ジェムザール3投1休	87
ニボルマブ	88
ニボルマブ+イピリムマブ併用療法	89
ニボルマブ+イピリムマブ併用療法	90
ベクティビックス+CPT-11	91
ベクティビックス単剤	92
ベバシズマブ+mFOLFOX6	93
ラムシルマブ+FOLFIRI	94

ラムシルマブ＋イリノテカン併用療法	95
ラムシルマブ＋パクリタキセル療法	96
ラムシルマブ＋ロンサーフ併用療法	97
ラムシルマブ療法	98

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
5 F U + C D G P	食道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロン3mg デカドロン注	1袋 6.6mg	点滴	30分	day 1
①、	グラニセトロン3mg デカドロン注	1袋 3.3mg	点滴	30分	day 2, 3
①、	グラニセトロン3mg	1袋	点滴	30分	day 4, 5
②	5FU 生理食塩液	800mg/m2 500mL	点滴	24時間	day 1～5
③	アクプラ 生理食塩液	90mg/m2 250mL	点滴	90分	day 1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日（4週間）			PDまで		
その他（特記事項など）					
・水分負荷が困難な症例など、標準の5FU＋CDDPが使用できない症例に対して用いる。					
・患者の心機能に応じて、可能な範囲でHydrationを行う。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
5FU+CDDP+Pembrolizumab	食道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	ペムブロリズマブ 生理食塩液100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	硫酸Mg補正液 1mEq/mL 生理食塩液500mL	10mL 1袋	点滴	2時間	day1
⑤	アロキシ点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1袋 1瓶 2A	点滴	30分	day1
⑥	生理食塩液100mL デキサート注6.6mg	1瓶 1瓶	点滴	30分	day2-3
⑦	フロセミド注20mg 生理食塩液50mL	1A 1瓶	全開	フラッシュ	day1
⑧	シスプラチン 生理食塩液500mL	80mg/m ² 1袋	点滴	4時間	day1
⑨	5-FU 生理食塩液500mL	800mg/m ² 1袋	点滴	24時間	day1-5
⑩	生理食塩液500mL	1袋×2	点滴	4時間	day1
⑪	ポタコールR500mL	1袋×2	点滴	6時間	day1 (翌朝まで2本)
⑫	ポタコールR500mL	1袋	点滴	2時間	day2-3

1コースの期間	投与スケジュール及び総コース数
21日	PDまで継続

その他(特記事項など)

- ・インラインフィルター使用 ・イメンドカプセル使用
- ・CDDPは投与開始前日から翌日にかけてハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎・肝・心機能に応じ、投与量などを変更する
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節する
- ・CDDPの投与回数は6回を目途とする

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Atezolizumab+Bev	切除不能 肝細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	テセントリク 生理食塩液	1200mg/body 250mL	点滴	30-60分	day1
②	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
③	アバスチン 生理食塩液	15mg/kg 100mL	点滴	30-90分	day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 21日（3週間）			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		

その他（特記事項など）

- ・投与にはPVCフリーの0.2μmのインラインフィルター付き輸液セットを使用する。
- ・テセントリクは、生食バッグから生食20mLを抜き取った後に混注し、全量が250mLになるように調製する。投与時間は初回60（±15）分、問題なければ2回目30（±10）分で点滴可能。
- ・アバスチンは全量100mLとなるよう調製する。投与時間は初回90（±15）分、問題なければ2回目60（±10）分、3回目以降30（±10）分で点滴可能。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ＋FOLFIRI	結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ注0.75mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg／kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	アイソボリン 生理食塩液	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	day1
④	トポテシン注 生理食塩液	150mg／m ² 250mL	③の側管 から点滴	③と同時に開 始し90分で	day1
⑤	5－FU 生理食塩液	400mg／m ² 50mL	点滴	15分以内 （全開）	day1
⑥	5－FU 生理食塩液	2400mg／m ² total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1～3
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間（2週間）			PDまで継続		
その他（特記事項など）					
・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+IRIS	大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mg	1 V	点滴	30分	day 1, 15
	デカドロン6.6mg	1 V			
	生理食塩液	100mL			
②	ベバシズマブ	5mg/kg	点滴	初回90分 2回目60分 3回目以降 30分	day 1, 15
	生理食塩液	100mL			
③	カンプト	100mg/m ²	点滴	90分	day 1, 15
	生理食塩液	500mL			
④	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day 1, 15
⑤	T S - 1	80-120mg/body	内服	1日2回	day 1 ~ 15
⑥					
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日（4週間）			4週間を1コースとして P D まで		
その他（特記事項など）					
・ TS-1は d a y 1 の夕食後から開始し、 d a y 1 5 の朝食後まで服用後 1 4 日間休薬					
・ T S - 1 の投与量の標準は、					
体表面積 1.25未満 : 80mg/day、1.25以上1.5未満 : 100mg/day、1.5以上120mg/day					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+mFOLFOX6	結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg アロキシバッグ0.75mg	1V 1本	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg／kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg／㎡ 250mL	点滴	120分	day1
④	エルプラット 5%ブドウ糖	85mg／㎡ 250mL	③の側管から点滴	③と同時に開始し120分で	day1
⑤	5－FU 生理食塩液	400mg／㎡ 50mL	点滴	15分以内（全開）	day1
⑥	5－FU 生理食塩液	2400mg／㎡ total 230mL	インフューザーポンプ	46時間	day1～3
1コースの期間 14日間（2週間）			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		
その他（特記事項など） ・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ + S-1	結腸癌、直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルートキープ	day 1 , 15, 29
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	30～90分	day 1 , 15, 29
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1 , 15, 29
④	TS-1	80-120mg/body	内服	1日2回 朝夕食後	day1-28
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
42日間（6週間）			P D まで		
その他（特記事項など）					
・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分で投与する。60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。 ・TS-1はday1の夕食後から開始し、day28朝食後まで服用後14日間休薬とする。体表面積が1.25未満の場合は80mg/day、1.25以上1.5未満の場合は100mg/日、1.5以上の場合は120mg/日とする。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ + sLV5FU2	結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ0.75mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	アイソボリン 生理食塩液	200mg/m ² 250mL	点滴	120分	day1
④	5-FU 生理食塩液	400mg/m ² 50mL	点滴	15分以内 （全開）	day1
⑤	5-FU 生理食塩液	2400mg/m ² total 230mL	インフュー ザーポンプ [®]	46時間	day1～3
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間（2週間）			PDまで継続		

その他（特記事項など）

- ・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分に。60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。
- ・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ + UFT + LV	結腸癌、直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルートキープ	day 1, 15
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	30～90分	day 1, 15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1, 15
④	UFT	300mg/m ²	内服	1日3回食間	day1-21
⑤	ホリナート錠	75mg	内服	1日3回食間 (UFTと同 時)	day1-21
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日間(4週間)			PDまで		

その他(特記事項など)

- ・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分で投与する。60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。
- ・UFT、ホリナートについては、1日3回(約8時間ごとに)、食事の影響をうけるため食事の前後1時間を避けて経口投与する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
bev+XELIRI	大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mgバッグ デキサート6.6mg	1 バッグ 1 V	点滴	30分	day 1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	7.5mg/kg 合計100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目以降 30分	day 1
③	カンプト点滴静注 生理食塩液	200mg/m ² 500mL	点滴	90分	day 1
④	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day 1
⑤	ゼローダ	1600mg/m ² /day	内服		day 1～15
⑥					
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日（3週間）			P D まで		
その他（特記事項など）					
・ゼローダはday 1の夕食後から開始し、day 15の朝食後まで服用後7日間休薬					
・ゼローダの標準投与量は体表面積に合わせて次に基づき投与する。					
1, 31m ² 未満：1800mg/日 1, 31以上1, 69m ² 未満：2400mg/日 1, 69以上2, 07m ² 未満：3000mg/日					
2, 07m ² 以上：3600mg/日					
・UGT1A1の遺伝子多型を測定し、ホモ又はダブルヘテロの場合はカンプトの投与量を150mg/m ² に減量する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+XELOX	結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg アロキシバッグ	1V 50mL	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	7.5mg／kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	エルプラット 5%ブドウ糖	130mg／m ² 250mL	点滴	120分	day1
	ゼローダ	下記参照	内服	1日2回 朝夕食後すぐ	day1～14
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 アバスチン・エルプラットは1投2休 ゼローダは14日間内服後7日休薬 PDまで		
その他(特記事項など) ・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分に。60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。 ・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始する。 体表面積 1.36未満：1,200mg、1.36以上1.66未満：1,500mg、1.66以上1.96未満：1,800mg 1.96以上：2,100mg					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ + トリフルリジン	結腸癌、直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルートキープ	day 1 , 15
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	30～90分	day 1 , 15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1 , 15
④	トリフルリジン	35mg/m2/回	内服	1日2回 朝夕食後	day1-5、day8-12
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日間（4週間）			P D まで		
その他（特記事項など）					
・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分で投与する。60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。 ・トリフルリジンについて、前コース中に、減量基準に該当する有害事象が発現した場合には、投与再開時において、コース単位で1日単位量として10mg/日単位で減量することとする。最低投与量は、30mg/日までとする。トリフルリジンを50mg/日を投与する場合は、朝食後に20mg、夕食後に30mgを投与することとする。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
biweeklyアービタックス+FOLFIRI	結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ポラミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50ml	点滴	全開	day1
②	アロキシ注 生理食塩液50mL	1 V	点滴	30分	day1
③	アービタックス注 生理食塩液	500mg／m ² Total 500mL	点滴	120分	day1
④	レボホリナート 生理食塩液	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	day1
側	トポテシン 生理食塩液	150mg／m ² 250mL	⑤の側管 から	⑤と同時に 開始し90分 で	day1
⑤	5-FU 生理食塩液	400mg／m ² 50mL	点滴	全開	day1
⑥	5-FU 生理食塩液	2400mg／m ² total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1
1 コースの期間 14日間（2週間）			投与スケジュール及び総コース数 アービタックスとFOLFIRIは隔週投与 2週間を1コースとして、PDまで継続		
その他（特記事項など） ・アービタックス投与時のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・アービタックスによるG3以上の皮膚症状発現時は、添付文書に基づき、投与量の調節を行うこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
biweeklyアービタックス+mFOLF0X6	結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ポララミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50ml	点滴	全開	day1
②	アービタックス注 生理食塩液	500mg／m ² Total 500mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液	100ml	点滴	30分	day1
④	アロキシ注 生理食塩液50mL	1 V	点滴	全開	day1
⑤	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	day1
側	エルプラット 5%ブドウ糖液	85mg／m ² 250mL	⑥の側管 から	⑥と同時に 開始し120分 で	day1
⑥	5-FU 生理食塩液	400mg／m ² 50mL	点滴	全開	day1
⑦	5-FU 生理食塩液	2400mg／m ² total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1
1 コースの期間 14日間（2週間）			投与スケジュール及び総コース数 アービタックスとFOLF0Xは隔週投与 2週間を1コースとして、PDまで継続		
その他（特記事項など） ・ アービタックス投与時のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・ アービタックス終了後は、同じ速度で生食フラッシュを行う。 ・ アービタックスによるG3以上の皮膚症状発現時は、添付文書に基づき、投与量の調節を行うこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 Biweekly CPT-11+CDDP	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
	デキサート1.65mg アロキシバッグ	3A 1本			
②	5%ブドウ糖液 カンプト注	500ml 40-60mg/m ²	点滴	90分	day1,15
③	生理食塩液 シスプラチン注	500ml 20-30mg/m ²	点滴	90分	day1,15
④	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day1,15
⑤					
1コースの期間 1コース4週(28日)			投与スケジュール及び総コース数 4週間を1コースとして繰り返す PDまで継続		

・腎障害軽減のため、飲水指導を行うこと。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CDDP+5FU	食道癌 胃癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☒ 術前化学療法（進行） ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ静注 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴 (側管2)	30分	day1
①'	デカドロン注1.65mg 生理食塩液	2A 100mL	点滴 (側管2)	30分	day2～3
②	ラシックス20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管2)	30分	day1
③	ランダ注 生理食塩液	80mg/m ² 500mL	点滴 (側管2)	4時間	day1
④	5-FU ポタコールR注	800mg/m ² 500mL	持続点滴 (側管1)	24時間	day1～5
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 1週(5日間)投与2週休薬を1コースとして 2コース実施		

その他(特記事項など)

- ・ランダ投与開始前日～投与翌日にかけて、5～6000mL程度のハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。
- ・ランダは投与量に相当する生食をボトルから抜いてから混合し、totalとして500mLとする。
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。
- ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。
- ・胃癌に対しては、TS-1(標準治療)が内服できないなどの場合にのみ使用する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
アービタックス + mFOLFOX6	EGFR陽性の治癒切除不可能な進行・再発の結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ポラミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開で (約 5分)	day 1,8
②	アロキシ注 生理食塩液100mL	1V	点滴	30分	day 1
②	生理食塩液	50mL	点滴	30分	day 8
③	アービタックス注 生理食塩液	250mg/m ² (初回は400mg/m ²) total 250mL (初回は500mL)	点滴	60分 (初回は 120分)	day 1,8
④	生理食塩液	100mL	フラッシュ用	250mL/h	day 1
④	生理食塩液	50mL	フラッシュ用	250mL/h	day 8
⑤	経過観察			1時間	day 1,8
⑥	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg/m ² 250mL	点滴	120分	day 1
側	エルプラット 5%ブドウ糖	150mg/m ² 250mL	⑥の側管 から	⑥と同時に開始 し120分で	day 1
⑦	5-FU 生理食塩液	400mg/m ² 50mL	点滴	全開で	day 1
⑧	5-FU 生理食塩液	2400mg/m ² total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day 1
1コースの期間 14日(2週間)			投与スケジュール及び総コース数 アービタックスは毎週投与 FOLFOXはbiweeklyで投与 を1コースとしてPDまで継続		

その他(特記事項など)

- ・アービタックス投与前のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。
- ・アービタックス終了後は、同じ速度で生食フラッシュを行い、その後経過観察とする。なお、day8はフラッシュ終了後は抜針し、経過観察とする。
- ・アービタックスによるG3以上の皮膚症状発現時は、添付文書に基づき、投与量の調節を行うこと。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 CPT-11 + CDDP	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1, 15
②	カンプト 5%ブドウ糖液	70mg/m ² 500mL	点滴	90分	day 1, 15
③	シスプラチン	80mg/m ²	点滴		day 1
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
4(～6)週間			4(～6)週間を1コースとして繰り返す。 PDまで継続		
その他(特記事項など)					
・CDDPを含む day 1は入院で					
・ハイドレーションを行う					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 CPT-11+TS-1併用療法	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1,15
②	カンプト 生理食塩液	80mg/m ² 500mL	点滴	90分	day 1,15
③	TS-1	80-120mg	経口		day 1-21
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
35日間(5週間)			5週間を1クールとして繰り返す。 PDまで継続		

その他(特記事項など)

患者によって必要時、以下の処置を行う。

・グラニセトロンバッグをpostメディケーションとして追加投与する場合あり。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
DCF	食道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ静注 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴 (側管2)	30分	day1、8
②	ガスター注 ポララミン注 5%ブドウ糖	1A 1A 100mL	点滴 (側管2)	30分	day1、8
③	5-FU 生理食塩液	600mg/m ² 500mL	持続点滴 (側管1)	24時間	day1～5
④	ドセタキセル注 5%ブドウ糖	35mg/m ² 500mL	点滴 (側管2)	2時間	day1、8
⑤	ランダ注 生理食塩液	12mg/m ² 500mL	点滴 (側管2)	4時間	day1～5
⑥					
1コースの期間 28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 4週(28日)を1コースとして繰り返す PDまで施行		
その他(特記事項など) ・ランダ投与開始前日よりday10までの間、1日1500mL程度のハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎 肝心機能等に応じ投与量などを変更する。 ・5FUは本体の側管1から、それ以外の薬剤は側管2から投与する。 ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
DCS(進行・再発)	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
②	アロキシバグ デキサート	50mL 9.9mg	点滴 (側管)	30分	day1
①	デキサート 生理食塩液	6.6mg 100mL	点滴 (側管)	30分	day2~3
②	ガスター注 ポラミン注 5%ブドウ糖	1A 1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
③	ドセタキセル 生理食塩液	40mg/m ² 250mL	点滴 (側管)	2時間	day1
②	ラシックス注20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
③	シスプラチン 生理食塩液	60mg/m ² 合計500mL	点滴 (側管)	2時間	day1
	TS-1	80mg/m ²	経口		day1~14
1コースの期間 28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 TS-1はday1の夕からday15朝まで 連続服用後14日間休薬を1コース PDまで継続		

その他(特記事項など)

- ・TS-1は以下の投与量(1回量)を1日2回朝夕食後に内服する。
体表面積 1.25未満:40mg、1.25以上1.50未満:50mg、1.5以上:60mg
- ・シスプラチン投与開始前日~投与翌日にかけて、5~6000mLのハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。
- ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。
- ・イメンドを併用する

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 DOC+CDGP	食道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	ポララミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1A 1A 50mL	点滴	全開で	day1、15
②	アロキシ注0.75mg デカドロン注6.6mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day1、15
③	ドセタキセル注 生理食塩液	30mg/㎡ 250mL	点滴	60分	day1、15
④	アクプラ注 生理食塩液	40mg/㎡ 500mL	点滴	60分	day1、15
⑤	ソリタT3	500mL	点滴	60分	day1、15
1コースの期間 28日（4週間）			投与スケジュール及び総コース数 4週間を1コースとして繰り返す。 PDまで継続		
その他（特記事項など） ・腎障害軽減のため、飲水指導を行うこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
DTX+CDGP併用療法	進行食道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	カイトリルバッグ デカドロン8mg	1袋 1V	点滴	30分	day1
②	ドセタキセル 生理食塩液	45mg／m ² 250mL	点滴	60分	day1
③	アクプラ 生理食塩液	60mg／m ² 500mL	点滴	120分	day1
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間 14日間(2週)			投与スケジュール及び総コース数 1投1休(隔週)で繰り返す。 可能な限り継続		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Durvalumab維持療法	胆道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	デュルバルマブ 生理食塩液100mL	1500mg/body 1瓶	点滴	60分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日			PDまで		
その他(特記事項など)					
・体重が30kg以下の場合、デュルバルマブは20mg/kgで計算する					
・デュルバルマブはインラインフィルターを使用して投与する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Durvalumab単剤	肝細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	デュルバルマブ 生理食塩液100mL	1500mg/body 1瓶	点滴	60分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日			PDまで		
その他(特記事項など)					
・体重が30kg以下の場合、デュルバルマブは20mg/kgで計算する					
・デュルバルマブはインラインフィルターを使用して投与する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Durvalumab+GC	胆道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	デュルバルマブ 生理食塩液100mL	1500mg/body 1瓶	点滴	60分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロンバッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	全開	day1,8
⑤	生理食塩液250mL	1袋	点滴	60分	day1,8
⑥	シスプラチン 生理食塩液500mL	25mg/m ² 1袋	点滴	60分	day1,8
⑦	ゲムシタビン 生理食塩液250mL	1000mg/m ² 1袋	点滴	30分	day1,8
⑧	生理食塩液250mL	1袋	点滴	30分	day1,8
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日			*PDまで		

その他(特記事項など)

- ・必要時、day2,3にDEX 8mg内服
 - ・体重が30kg以下の場合、デュルバルマブは20mg/kgで計算する
 - ・デュルバルマブはインラインフィルターを使用して投与する
 - ・最大8コースが終了後、デュルバルマブ単剤に以降する
- ※TOPAZ-1治験では最大8コースの化学療法併用となっていたが、実臨床では副作用がない限り、PD判断まで併用する

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
FOLFIRI	結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ注0.75mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day1
②	レボホリナート 生理食塩液	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	day1
③	トポテシン注 生理食塩液	150mg／m ² 250mL	②の側管 から点滴	②と同時に開 始し90分で	day1
④	5－FU 生理食塩液	400mg／m ² 50mL	点滴	15分以内 (全開で)	day1
⑤	5－FU 生理食塩液	2400mg／m ² total 230mL	インフュー ザーポンプ [°]	46時間	day1～3
⑥					
1コースの期間 14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		
その他(特記事項など) ・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
FOLFIRI+aflibercept	大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注 アロキシバッグ	6.6mg 0.75mg	点滴	30分	day1
②	ザルトラップ 生理食塩液	4mg／kg 250mL	点滴	60分	day1
③	生理食塩液	50mL	250ml/h		day1
④	レボホリナート 生理食塩液	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	day1
⑤	カンプト注 生理食塩液	150mg／m ² 250mL	④の側管 から点滴	④と同時に 開始し90分で	day1
⑥	5－FU 生理食塩液	400mg／m ² 50mL	点滴	15分以内 （全開）	day1
⑦	5－FU 生理食塩液	2400mg／m ² total 92mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1～3
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間（2週間）			PDまで継続		
その他（特記事項など）					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
FOLFIRINOX療法	膵癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注 アロキシ点滴静注バック	9.9mg 50mL	点滴	30分	d a y 1
②	エルプラット点滴静注液 5 %ブドウ糖	85mg／m ² 250mL	点滴	120分	d a y 1
③	レボホリナート 5 %ブドウ糖	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	d a y 1
側	トポテシン点滴静注 生理食塩液	180mg／m ² 250mL	③の側管から点滴	③と同時に開始し90分	d a y 1
④	5－F U注 生理食塩液	400mg／m ² 50mL	点滴	15分以内（全開で）	d a y 1
⑤	5－F U注 生理食塩液	2400mg／m ² total 92mL	インフューザーポンプ	46時間	d a y 1～3
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間（2 週間）			P Dまで継続		
その他（特記事項など）					
・ インフューザーポンプは2mL/ h で投与する。 ・ d a y 1 の③投与60分～90分前にイメンドカプセル125mgを経口投与する。 ・ d a y 2 ～3 の午前中にイメンドカプセル80m g（1日1回）及びデカドロン4m g（1日1回）を経口投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 FP(肝動注)	胃癌又は食道癌 原発切除不能転 移性肝癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1. 15
②	生理食塩液 (末梢ルートキープ用)	100mL	点滴	40mL/h (残液廃棄)	day1. 15
動注 ①	5-FU	150～350mg/m ²	動注	カイトリル終了後 ワンショット	day1. 15
動注 ②	シスプラチン 生理食塩液	3～7mg/m ² total 50mLに	持続動注	15分	day1. 15
動注 ③	ヘパリンNaロックシリンジ	1本	動注	ヘパリンフラッシュ	day1. 15
⑥					
1コースの期間 28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 4週間を1コースとして繰り返す。 PDまで		

その他(特記事項など)

- ・シスプラチンの動注は5FUのワンショット動注終了次第開始する。
- ・グラニセトロンは患者の状態から必要性を考慮し、省略や内服への変更など行う場合有り。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
GCS	胆道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1V 1V	点滴	5分	Day1
②	生理食塩水	500mL	点滴	60分	Day1
③	ジェムザール 生理食塩水	1000mg/m2 250mL	点滴	30分	Day1
④	シスプラチン 生理食塩水	25mg/m2 total500mL	点滴	60分	Day1
⑤	生理食塩水	250mL	点滴	30分	Day1
	ティーエスワン	80mg/m2	経口	分2	Day1-7
1 コースの期間 14日間			投与スケジュール及び総コース数 6か月（スキップが無ければ計12コース）、もしくは中止基準に該当するまで		
その他（特記事項など） ・ TS-1はday1の夕食後より体表面積に応じ以下の量で開始する 1. 25未満：80mg/day、1.25以上1.5未満：100mg/day、1.5以上：120mg/day ・ C _{Cr} が60mi/min未満の場合はTS1を1段階減量して60mg/m2で投与 1. 25未満：60mg/day、1.25以上1.5未満：80mg/day、1.5以上：100mg/day					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
GEM+タルセバ	膵臓癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ デキサート	50mL 3. 3mg	点滴	30分	day1. 8. 15
②	ジェムザール 生理食塩液	1000mg/㎡ 100mL	点滴	30分	day1. 8. 15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1. 8. 15
④	タルセバ	100mg/body	内服		day1～28
⑤					
1 コースの期間 2 8 日（4 週間）			投与スケジュール及び総コース数 G E M：3 投 1 休、タルセバは連日内服 2 8 日 1 コースとして P D まで		
その他（特記事項など） ・ 1 st Lineでの治療に限る。 ・ 間質性肺炎に注意し、タルセバの適正使用ガイドに基づき、適切な観察を行うこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
GEM3投1休+TS-1（隔日）	膵臓癌	☐ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ デキサート	50mL 3.3mg	点滴	30分	day1. 8. 15
②	ジェムザール注 生理食塩液	600～1000mg/㎡ 100mL	点滴	30分	day1. 8. 15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1. 8. 15
④	TS-1	80mg/㎡	内服		下記参照
⑤					
1 コースの期間 28日（4週間）			投与スケジュール及び総コース数 2コース ただし、TS-1の内服は7週間で終了		
その他（特記事項など） ・ジェムザールの投与量は本臨床試験実施計画に基づき、600mg→800mg→1000mg/㎡とドーズエスカレーションを行う。 ・TS-1は下記の量を朝夕食後1日2回に分割し、隔日投与（月・水・金・日）を7週間行う。 体表面積 1.25未満：80mg、1.25以上1.5未満：100mg、1.5以上：120mg ・その他治療スケジュールや投与量については、臨床試験のプロトコルに基づいて実施する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
I R I S	大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mg	1 V	点滴	30分	day 1、15
	デカドロン6.6mg	1 V			
	生理食塩液	100mL			
②	トポテシン	125mg／m ²	点滴	90分	day 1、15
	生理食塩液	500mL			
③	TS-1	80～120mg /body/day	内服	1日2回	day 1～15
④					
⑤					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日間（4週間）			4週間を1コースとして繰り返す。 PDまで継続		
その他（特記事項など）					
・TS-1はday 1の夕食後から開始し、day 15の朝食後まで服用後14日間休薬					
・TS-1の投与量の標準は、 体表面積 1.25未満：80mg/day、1.25以上1.5未満：100mg/day、1.5以上120mg/day					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Low dose FP (CRT)	食道癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴	30分	day 1
②	5-FU ポタコールR	350mg/m ² 500mL	持続点滴	24時間	day 1～5
③	ランダ 生理食塩液	7mg/m ² 500mL	点滴	4時間	day 1～5
④					
⑤					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
7日間			4コース（4週間）連続で投与		

その他（特記事項など）

- ・ハイドレーションのため、3号輸液などを1日1500mL投与する。
- ・FP投与に合わせて、radiation（40～70Gy）をシンクロナイズする。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
low-dose FP	肝細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ナゼア注0.3mg 生理食塩液	1A 20mL	静注	ワンシヨット	day1～5
②	ランダ 生理食塩液	10mg/body 100mL	動注	60分	day1～5
③	5-FU 生理食塩液	250mg/body 500mL	動注	5時間	day1～5
④	ヘパリンNaロックシリンジ	10mL	動注	ワンシヨット	day1～5
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
7日間(1週)			PDまで継続		

その他(特記事項など)

・動注は動注ポートより投与

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
modified FOLFIRINOX療法	膵癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注 アロキシ点滴静注バッグ	9.9mg 50mL	点滴	30分	d a y 1
②	エルプラット点滴静注液 5 %ブドウ糖	85mg／m ² 250mL	点滴	120分	d a y 1
③	レボホリナート 5 %ブドウ糖	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	d a y 1
側	カンプト点滴静注 生理食塩液	150mg／m ² 250mL	③の側管から点滴	③と同時に開始し90分	d a y 1
④	5－F U注 生理食塩液	2400mg／m ² total 92mL	インフューザーポンプ	46時間	d a y 1～3
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間（2 週間）			P Dまで継続		
その他（特記事項など）					
・ インフューザーポンプは2 mL／h で投与する。 ・ d a y 1 の③投与60分～90分前にイメンドカプセル125mgを経口投与する。 ・ d a y 2 ～3 の午前中にイメンドカプセル80m g（1日1回）及びデカドロン4m g（1日1回）を経口投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
m FOLFOX6	結腸・直腸癌 小腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg アロキシバッグ	1V 1本	点滴	30分	day1
②	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	day1
③	エルプラット 5%ブドウ糖	85mg／m ² 250mL	②の側管 から点滴	②と同時に開 始し120分で	day1
④	5－FU 生理食塩液	400mg／m ² 50mL	点滴	15分以内 (全開)	day1
⑤	5－FU 生理食塩液	2400mg／m ² total 92mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1～3
1コースの期間 14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		
その他(特記事項など) ・インフューザーポンプは2mL/hで投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
modified FOLFOX	膵臓癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg アロキシバッグ	1V 1本	点滴	30分	day1
②	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	day1
③	エルプラット 5%ブドウ糖	85mg／m ² 250mL	②の側管 から点滴	②と同時に開 始し120分で	day1
④	5－FU 生理食塩液	2000mg／m ² total 92mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1-3
1コースの期間 14日間（2週間）			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		
その他（特記事項など） ・イリノテカン不耐の場合に限る ・インフューザーポンプは2mL/hで投与する。 ・ゲムシタビン治療抵抗性症例、二次治療以降に適応する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
nal-IRI+FU/LV	膵癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート アロキシバッグ	9.9mg 0.75mg/50mL	点滴静注	15分	Day1
②	5%ブドウ糖注射液 オニバイド	500mL 70mg/m ²	点滴静注	90分	Day1
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	フラッシュ	Day1
④	レボホリナート 5%ブドウ糖注射液	200mg/m ² 250mL	点滴静注	2時間	Day1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	フラッシュ	Day1
⑥	フルオロウラシル 生理食塩液	2,400mg/m ² total 92mL	持続静注	46時間	Day1～3
1コースの期間 2週間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他（特記事項など） UGT1A1*6もしくはUGT1A1*28のホモ接合体またはUGT1A1*6及びUGT1A1*28のヘテロ接合体を有する患者は、CPT-11として1回量50mg/m ² を開始用量とする。なお、忍容性が認められる場合は、1回量として70mg/m ² に増量することができる。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab+SOX (L-OHP:100mg/m ²)	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	360mg 64mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン 点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	100mg/m ² 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑦	TS-1		内服		day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		

その他(特記事項など)

TS-1はday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する
 投与量は以下の通り、体表面積に応じて計算する
 1.25m²未満: 80mg/day、1.25m²以上～1.5m²未満: 100mg/day、1.5m²以上: 120mg/day

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab+SOX (L-OHP:130mg/m ²)	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	360mg 64mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン 点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	130mg/m ² 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑦	TS-1		内服		day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		

その他(特記事項など)

TS-1はday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する
 投与量は以下の通り、体表面積に応じて計算する
 1.25m²未満: 80mg/day、1.25m²以上～1.5m²未満: 100mg/day、1.5m²以上: 120mg/day

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab＋XELOX (L-OHP:100mg/m ²)	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	360mg 64mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン 点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	100mg/m ² 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑦	ゼローダ		内服		day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		

その他(特記事項など)

ゼローダはday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する
投与量は添付文書のC法に従って決定する

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab＋XELOX (L-OHP:130mg/m ²)	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	360mg 64mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン 点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	130mg/m ² 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑦	ゼローダ		内服		day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		

その他(特記事項など)

ゼローダはday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する
投与量は添付文書のC法に従って決定する

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab (240mg) + 5FU + CDDP	根治切除不能な 進行・再発の食道 癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1,15
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	240mg/body 1瓶	点滴	30分	day1,15
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1,15
④	硫酸Mg補正液 1mEq/mL 生理食塩液500mL	10mL 1袋	点滴	2時間	day1
⑤	パロノセロン点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1袋 1瓶 2A	点滴	30分	day1
⑥	生理食塩液100mL デキサート注6.6mg	1瓶 1瓶	点滴	30分	day2-3
⑦	フロセミド注20mg 生理食塩液50mL	1A 1瓶	全開	フラッシュ	day1
⑧	シスプラチン 生理食塩液500mL	80mg/m ² 1袋	点滴	4時間	day1
⑨	5-FU 生理食塩液500mL	800mg/m ² 1袋	点滴	24時間	day1-5
⑩	生理食塩液500mL	1袋 × 2	点滴	4時間	day1
⑪	ポタコールR500mL	1袋 × 2	点滴	6時間	day1 (翌朝まで2本)
⑫	ポタコールR500mL	1袋	点滴	2時間	day2-3
1コースの期間 28日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		

その他(特記事項など)

- ・インラインフィルター使用 ・イメンドカプセル使用
- ・CDDPは投与開始前日から翌日にかけてハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎・肝・心機能に応じ、投与量などを変更する
- ・フロセミドは尿量に応じ、適宜調節する

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab (480mg) + 5FU + CDDP	根治切除不能な 進行・再発の食道 癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	480mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	硫酸Mg補正液 1mEq/mL 生理食塩液500mL	10mL 1袋	点滴	2時間	day1
⑤	パロノセロン点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1袋 1瓶 2A	点滴	30分	day1
⑥	生理食塩液100mL デキサート注6.6mg	1瓶 1瓶	点滴	30分	day2-3
⑦	フロセミド注20mg 生理食塩液50mL	1A 1瓶	全開	フラッシュ	day1
⑧	シスプラチン 生理食塩液500mL	80mg/m ² 1袋	点滴	4時間	day1
⑨	5-FU 生理食塩液500mL	800mg/m ² 1袋	点滴	24時間	day1-5
⑩	生理食塩液500mL	1袋 × 2	点滴	4時間	day1
⑪	ポタコールR500mL	1袋 × 2	点滴	6時間	day1 (翌朝まで2本)
⑫	ポタコールR500mL	1袋	点滴	2時間	day2-3
1コースの期間 28日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		

その他(特記事項など)

- ・インラインフィルター使用 ・イメンドカプセル使用
- ・CDDPは投与開始前日から翌日にかけてハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎・肝・心機能に応じ、投与量などを変更する
- ・フロセミドは尿量に応じ、適宜調節する

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベクティビックス+FOLFIRI	直腸・結腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン6.6mg	1V	点滴 (リザーバ)	30分	day1
	アロキシ0.75mg	1V			
	生理食塩液100mL	1V			
②	ベクティビックス	6mg/Kg	点滴 (リザーバ)	60分	day1
	生理食塩液100mL	1V			
③	レボホリナート 生理食塩液 250ml	200mg/m ²	点滴 (リザーバ) 同時に点滴 開始	2時間	day1
	トポテシン 生理食塩液 250mL	150mg/m ²		90分	
④	5－FU 生理食塩液50mL	400mg/m ²	急速静注 (リザーバ)	急速静注	day1
⑤	5－FU 生理食塩液250mL	2400mg/m ²	インフューザーポン プ (リザー バ)	46時間 持続点滴	day1, 2, 3
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
1 4 日間			2週間隔投与 PDまで		
その他（特記事項など）					
・ベクティビックス投与時は0.2または0.22ミクロンのインラインフィルターを用いて投与すること					
・持続5FUは5mL/hで46時間投与となるように調製する。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベクティビックス+mFOLFOX6	直腸・結腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン6.6mg	1V	点滴 (リザーバ)	30分	day1
	アロキシ0.75mg	1V			
	生理食塩液100mL	1V			
②	ベクティビックス	6mg/Kg	点滴 (リザーバ)	60分	day1
	生理食塩液100mL	1V			
③	レボホリナート 5%ブドウ糖 250ml	200mg/㎡	点滴 (リザーバ) 同時に点滴 開始	2時間	day1
	エルプラット 5%ブドウ糖 250mL	85mg/㎡			
④	5-FU 生理食塩液50mL	400mg/㎡	点滴 (リザーバ)	急速静注	day1
⑤	5-FU 生理食塩液250mL	2400mg/㎡	インフューザー ポンプ (リザーバ)	46時間 持続点滴	day1,2,3
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間			2週間隔投与 PDまで		
その他(特記事項など)					
・ベクティビックス投与時は0.2または0.22ミクロンのインラインフィルターを用いて投与すること					
・持続5FUは5mL/hで46時間投与となるように調製する。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
RAM + nab-PTX	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ点滴静注バッグ デキサート注 ポララミン注	0.75mg/50mL 6.6mg 5mg	点滴	30分	day1,15
①	アロキシ点滴静注バッグ デキサート注	0.75mg/50mL 6.6mg	点滴	30分	day8
②	サイラムザ注 生理食塩液	8mg/kg 250mL	点滴	60分	day1,15
③	生理食塩液	50 mL	点滴	60分	day1,15
④	アブラキサン注 生理食塩液	100mg/m ² 1バialあたり生食 20mLで溶解	点滴	30分	day1,8,15
⑤	生理食塩液	50 mL	点滴	フラッシュ	day1,8,15
1コースの期間 28日間(3投1休)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) ・サイラムザはフィルター使用(蛋白透過型のフィルター0.2又は0.22ミクロン) ・アブラキサンはフィルター使用不可 ・アブラキサンは壊死性抗癌剤 ・③の生理食塩液については、サイラムザ2回目までの投与でinfusion reactionがなければ、省略可能 ・アルコール不耐の患者限定とする					

がん薬物療法レジメン

レジメン名			対象がん種	適応分類	
S1+CDDP（short hydration）			胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他	
順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	フィジオ140 MgSO4補正液	500mL 8 mEq	点滴	500mL/h	day 8
②	フィジオ140	500mL	点滴	500mL/h	day 8
③	プロイメンド150mg 生理食塩液	250mL	点滴	500mL/h	day 8
④	アロキシバッグ デキサート注	50mL 9.9mg	点滴	500mL/h	day 8
⑤	生理食塩液 シスプラチン	総量500mL 60mg/m ²	点滴	500mL/h	day 8
⑥	フィジオ140 フロセミド	500mL 20mg	点滴	500mL/h	day 8
⑦	フィジオ140	500mL	点滴	500mL/h	day 8
	TS-1	80mg/m ² 下記参照	内服		day 1～21
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
35日間（5週間）			35日を1コース PDまで継続		
その他（特記事項など）					
・ TS-1は下記の投与量を1日2回朝夕食後に分割して内服する。 体表面積 1.25未満：80mg、1.25以上1.5未満：100mg、1.5以上：120mg ・ シスプラチン終了時で飲水500mLできれば⑦の生食は省略可能 ・ 治療前日に飲水1000mL、day 9, 10に飲水もしくは輸液を1000mL程度行う。 ・ Day8, 11, 15に採血（血算、腎機能、電解質）を施行。 ・ 遅発性嘔吐対策として、day9～11まで原則としてデカドロン8mg/dayを経口内服する。 ・ 外来で施行時：曜日は月曜日ないし木曜日で10時までに治療開始					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
S-IROX	膵がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ点滴静注0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day1
③	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液250mL	85mg/m ² 1袋	点滴	120分	day1
⑤	イリノテカン 5%ブドウ糖液250mL	150mg/m ² 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日			PDまで		
その他(特記事項など)					
・TS-1 20-40mg/m ² 1日2回 day1-7まで内服 (BSA<1.25m ² : 80mg/day、1.25m ² ≦BSA<1.5m ² : 100mg/day、1.5m ² ≦BSA: 120mg/day)					
・アプレピタント併用					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
S-1+ドセタキセル療法(術後補助化学療法)	胃癌	☐ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ 3mg ポララミン注5mg デキサート注6.6mg	1袋 1A 1瓶	点滴	30分	day1
②	ドセタキセル 生理食塩液	40mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	TS-1	80mg/m ²	経口		day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間(3週間)			21日間(3週間)を1コースとして6コース繰り返す		
その他(特記事項など)					
・TS-1はday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬 (体表面積:1.25未満:80mg/day、1.25以上1.5未満:100mg/day、1.5以上:120mg/day) ・術後補助化学療法として、1コース目はTS-1単剤を14日間連続投与→7日間休薬にて実施。2コース目から7コース目まで、TS-1+ドセタキセル療法を計6コース実施する。8コース目以降はTS-1単剤を28日間連続投与→14日間休薬を1コースとして術後1年後(10または11コース)まで3または4コース継続する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
S1+CDDP	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ静注 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴 (側管)	30分	day8
①	デカドロン注1.65mg 生理食塩液	2A 100mL	点滴 (側管)	30分	day9～10
②	ラシックス注20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day8
③	ランダ注 生理食塩液	60mg/㎡ 500mL	点滴 (側管)	4時間	day8
	TS－1	80mg/㎡	経口		day1～21
1コースの期間 35日間(5週間)			投与スケジュール及び総コース数 ランダはday8のみ、TS-1はday1から21日 連続服用後14日間休薬を1コース PDまで継続		
その他(特記事項など) ・ランダ投与開始前日～投与翌日にかけて、5～6000mLのハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。 ・ランダは投与量に相当する生食をボトルから抜いてから混合し、totalとして500mLとする。 ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。 ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
SLOG	膵がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ点滴静注0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day1
③	ゲムシタビン 生理食塩液100mL	800mg/m ² 1瓶	点滴	30分	day1
④	5%ブドウ糖液100mL	50mL	点滴	フラッシュ	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液250mL	85mg/m ² 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日			PDまで		
その他(特記事項など)					
・TS-1 20-40mg/m ² 1日2回 day1-7まで内服 (BSA<1.25m ² :80mg/day、1.25m ² ≤BSA<1.5m ² :100mg/day、1.5m ² ≤BSA:120mg/day)					
・ロイコボリン 20mg/m ² 1日2回 day1-7まで内服					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
sLV5FU2	結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
②	アイソボリン 生理食塩液	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	day1
③	5－FU 生理食塩液	400mg／m ² 50mL	点滴	15分以内 （全開）	day1
④	5－FU 生理食塩液	2400mg／m ² total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1～3
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間（2週間）			PDまで継続		
その他（特記事項など）					
・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
SOX	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注 6.6mg アロキシバッグ 0.75mg	1V 1袋	点滴	30分	day1
②	エルプラット 5% ブドウ糖	130 mg/m ² 500 mL	点滴	120 分	day1
③	生理食塩液	50 mL	点滴	フラッシュ	day1
④	TS-1	下記参照	内服	1日2回 朝・夕食後	day1～14
⑤					
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間（3週間）			PDまで継続		
その他（特記事項など）					
・ TS-1は、day1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後7日間休薬する。 投与開始用量は以下の通り、体表面積にて行う。 体表面積 1.25 m ² 未満： 80mg/day 1.25 m ² 以上～1.5 m ² 未満： 100mg/day 1.5 m ² 以上： 120 mg/day					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+SOX	結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注 6.6mg アロキシバッグ 0.75mg	1V 1袋	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	7.5 mg/kg 100 mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	エルプラット 5% ブドウ糖	130 mg/m ² 500 mL	点滴	120 分	day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
⑤	TS-1	下記参照	内服	1日2回 朝・夕食後	day1～14
1 コースの期間 21日間（3週間）			投与スケジュール及び総コース数 ベバシズマブ・エルプラットは1投2休 TS-1は14日間内服後7日休薬 PDまで		
その他（特記事項など） ・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分に。 60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。 ・TS-1は、day1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後7日間休薬する。 投与開始用量は以下の通り、体表面積にて行う。 体表面積 1.25 m ² 未満：80mg/day 1.25 m ² 以上～1.5 m ² 未満：100mg/day 1.5 m ² 以上：120 mg/day					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
SOX100+トラスツズマブ	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ点滴静注バッグ デキサート注射液	0.75mg/50mL 6.6mg/2mL	点滴	30分	day1
②	エルプラット点滴静注液 ブドウ糖注5%バッグ	100mg/㎡ 500mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	ハーセプチン 生理食塩液	6mg/kg (初回のみ8mg/kg) 250mL	点滴	30分 (初回のみ90分)	day1
	TS-1	下記参照	経口		day1～day14
1 コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 21日間を1コースとして繰り返す。 PDまで継続		
その他（特記事項など） ・CDDP使用不可症例に限る ・TS-1はday1の夕食後から開始し、day15朝食後まで服用後7日間休薬 体表面積 1.25未満:80mg/day、1.25以上1.5未満:100mg/day、1.5以上:120mg/day ・ハーセプチンは初回90分で点滴し、忍容性が良好であれば2回目以降、30分まで投与時間を短縮可能とする。 ・ハーセプチンは予定投与日より1週間を超えた後に投与する場合、初回量8mg/kgを投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
SOX130+トラスツズマブ	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ点滴静注バッグ デキサート注射液	0.75mg/50mL 6.6mg/2mL	点滴	30分	day1
②	エルプラット点滴静注液 ブドウ糖注5%バッグ	130mg/m ² 500mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	ハーセプチン 生理食塩液	6mg/kg (初回のみ8mg/kg) 250mL	点滴	30分 (初回のみ90分)	day1
	TS-1	下記参照	経口		day1～day14
1 コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 21日間を1コースとして繰り返す。 PDまで継続		
その他（特記事項など） ・CDDP使用不可症例に限る ・TS-1はday1の夕食後から開始し、day15朝食後まで服用後7日間休薬 体表面積 1.25未満:80mg/day、1.25以上1.5未満:100mg/day、1.5以上:120mg/day ・ハーセプチンは初回90分で点滴し、忍容性が良好であれば2回目以降、30分まで投与時間を短縮可能とする。 ・ハーセプチンは予定投与日より1週間を超えた後に投与する場合、初回量8mg/kgを投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ストレプトゾシン+5FU	膵神経内分泌癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	フィジオ140 500mL	1本	点滴	60分	day1-5
②	ソルデム3A 500mL	1本	点滴	60分	day1-5
③	パロノセトロンバッグ デキサート注	1本 9.9mg	点滴	30分	day1
④	ザノサー 生理食塩液500mL	500mg/m ² 1袋	点滴	1時間	day1-5
⑤	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1-5
⑥	5FU 生理食塩液	400mg/m ² 50mL	点滴	30分	day1-5
⑦	フィジオ140 500mL	1本	点滴	60分	day1-5
⑧	ソルデム3A 500mL	1本	点滴	60分	day1-5
⑨	生理食塩液 デキサート注	100mL 6.6mg	点滴	30分	day2-3
1コースの期間 42日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
トラスツズマブ デルクステカン	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート グラニセトロンバッグ	6.6mg 3mg/100mL	点滴	15分	Day1
②	5%ブドウ糖液	100mL	点滴	フラッシュ	Day1
③	トラスツズマブ デルクステカン 5%ブドウ糖液	6.4mg/kg 100mL	点滴	90分 (2回目以降30分)	Day1
④	5%ブドウ糖液	100mL	点滴	フラッシュ	Day1
⑤					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
3週間			PDまで		

その他(特記事項など)

- ・3次治療以降
- ・0.2 μ mのインラインフィルター(ポリエステルスルホン製またはポリスルホン製)を通して投与すること。
- ・本剤と生理食塩液との混合を避け、生理食塩液と同じルートを用いた同時投与は行わないこと。
- ・点滴バッグを遮光すること。
- ・室温で4時間以内、2-8℃で24時間以内。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
triweekly アブラキサン	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート6. 6mg 生理食塩液	1 V 100mL	点滴	30分	d a y 1
②	アブラキサン 生理食塩液	260mg/㎡ 100mL（※）	点滴	30分	d a y 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開 フラッシュ	d a y 1
④					
⑤					
⑥					
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
2 1 日（3 週間）			P D まで継続		
その他（特記事項など）					
・ アブラキサン 1 V に対し生理食塩液20mLで溶解し、そこから必要量を採取して投与する。 ・ 投与時は、インラインフィルターは使用しないこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
triweekly DTX	胃癌、食道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	カイトリルバッグ3mg ポララミン注5mg デキサート注6.6mg	1袋 1A 1V	点滴	30分	day1
2	ドセタキセル 生理食塩液250mL	※60mg/㎡ 1V	点滴	60分	day1
3	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
4					
5					
6					
1コースの期間 21日（3週間）			投与スケジュール及び総コース数		
その他（特記事項など） ドセタキセルの用量は、胃癌には、60mg/㎡、食道癌には70mg/㎡とする。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
triweekly アブラキサン	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート6. 6mg 生理食塩液	1 V 100mL	点滴	30分	d a y 1
②	アブラキサン 生理食塩液	260mg/㎡ 100mL（※）	点滴	30分	d a y 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開 フラッシュ	d a y 1
④					
⑤					
⑥					
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
2 1 日（3 週間）			P D まで継続		
その他（特記事項など）					
・ アブラキサン 1 V に対し生理食塩液20mLで溶解し、そこから必要量を採取して投与する。 ・ 投与時は、インラインフィルターは使用しないこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
トレメリムマブ+デュルバルマブ併用療法	切除不能 肝細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生食50mL	50mL	点滴	全開	day1
②	トレメリムマブ 生食250mL	300mg/body 250mL	点滴	60分	day1
③	生食50mL	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	デュルバルマブ 生食250mL	1500m g 250mL	点滴	60分	day1
⑤	生食50mL	50mL	点滴	フラッシュ	day1
⑥					
1 コースの期間 28日間（4週間）			投与スケジュール及び総コース数 1コース目 ※2コース目以降はデュルバルマブを4週間間隔で PDまで		
その他（特記事項など） ・ インラインフィルター（0.2又は0.22μm）使用。 ・ 同一の点滴ラインを使用して他の薬剤を同時投与しない。 ・ 初回のみイミフィンジ+イジユド併用とする。 ・ イジユドの投与量については体重が30kg以下の場合は4mg/kgとする。 ・ イミフィンジの投与量については体重が30kg以下の場合は20mg/kgとする。 ・ 2コース目以降はデュルバルマブ単剤で継続					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 TS-1+ドセタキセル療法	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg デキサート6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day1
②	ドセタキセル 生理食塩液	40mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1
③	TS-1	80mg/m ²	経口		day1-14
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間(3週間)			21日間(3週間)を1クールとして繰り返す。 PDまで継続		

その他(特記事項など)

ドセタキセルの溶解には原則添付溶解液(アルコール含有)を用いて行う。
 アルコール過敏症の患者については、患者登録時にその旨を記載すること。
 ⇒生理食塩液溶解法を用いて作成する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
weekly アブラキサン	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート6. 6mg 生理食塩液	1 V 100mL	点滴	30分	d a y 1
②	アブラキサン 生理食塩液	100mg/m ² 50mL（※）	点滴	30分	d a y 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開 フラッシュ	d a y 1
④					
⑤					
⑥					
1 コースの期間 2 1 日（3 週間）			投与スケジュール及び総コース数 P D まで継続		
その他（特記事項など） ・ アブラキサン 1 V に対し生理食塩液20mLで溶解し、そこから必要量を採取して投与する。 ・ 投与時は、インラインフィルターは使用しないこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Weekly CPT-11	胃癌 大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	カイトリルバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1,8,15
②	トポテシン 生理食塩液	80-100mg/m ² 500mL	点滴	90分	day1,8,15
③					
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日間(4週間)			3投1休を1クールとして繰り返す。 PDまで継続		

その他(特記事項など)

患者によって必要時、以下の処置を行う。

・デカドロン注をカイトリルに混合し、前投与する場合あり。

・カイトリルバッグをpostメディケーションとして追加投与する場合あり。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
weeklyパクリタキセル療法	胃癌 悪性軟部腫瘍(肉腫) 食道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ガスター注 ポララミン注 生理食塩液	1V 1A 3A 50mL	点滴	全開で (5分程度)	day1,8,15
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1,8,15
③	パクリタキセル 生理食塩液	60～80mg/m ² 250mL	点滴	60分	day1,8,15
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1,8,15
1コースの期間 28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 3投1休で繰り返す。 PDまで継続		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Xeloda+CDDP	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ静注 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
①	デカドロン注1.65mg 生理食塩液	2A 100mL	点滴 (側管)	30分	day2, 3
②	ラシックス注20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
③	ランダ注 生理食塩液	80mg/m ² Total 500mL	点滴 (側管)	4時間	day1
	ゼローダ	下記参照	経口		day1～14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間(3週間)			ランダはday1のみ、 ゼローダはday1の夕から14日間 (day15の朝まで)連続服用後7日間休薬 を1コース PDまで継続		

その他(特記事項など)

・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始し、day15の朝食後までとする。

体表面積 1.36未満 : 1,200mg 、 1.36以上1.66未満 : 1,500mg 、 1.66以上1.96未満 : 1,800mg
1.96以上 : 2,100mg

・ランダ投与開始前日～投与翌日にかけて、5～6000mLのハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。

・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。

・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。イメンドを併用する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
XELOX	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ0.75mg デキサート注	1袋 6.6mg	点滴	30分	day1
②	エルプラット 5%ブドウ糖	130mg/m ² 500mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液50mL	1V	点滴	フラッシュ	day 1
	ゼローダ	下記参照	内服	1日2回 朝夕食後すぐ	day1～14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間(3週間)			エルプラットは1投2休 ゼローダは14日間内服後7日休薬 進行・再発にはPDまで 術後補助療法は8コース施行		

その他(特記事項など)

- ・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始する。
 体表面積 1.36未満：1,200mg、1.36以上1.66未満：1,500mg、1.66以上1.96未満：1,800mg
 1.96以上：2,100mg
- ・術後補助療法に使用する場合は、イメンド(3日間)及びデカドロン4mg(day2,3)を併用する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
XELOX	結腸・直腸癌 小腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液100mL アロキシ注0.75mg デカドロン注6.6mg	1V 1V 1V	点滴	30分	day1
②	エルプラット 5%ブドウ糖	130mg/m ² 250mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液50mL	1V	点滴	200mL/hで フラッシュ	day 1
	ゼローダ	下記参照	内服	1日2回 朝夕食後すぐ	day1～14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間(3週間)			エルプラットは1投2休 ゼローダは14日間内服後7日休薬 PDまで		

その他(特記事項など)

・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始する。

体表面積 1.36未満：1,200mg 、 1.36以上1.66未満：1,500mg 、 1.66以上1.96未満：1,800mg
 1.96以上：2,100mg

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
XELOX+Trastuumab	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ0.75mg デキサート注	1袋 6.6mg	点滴	30分	day1
②	エルプラット 5%ブドウ糖	130mg／m ² 500mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1
④	ハーセプチン 生理食塩液	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 250mL	点滴	90分	day 1
	ゼローダ	下記参照	内服	1日2回 朝夕食後すぐ	day1～14
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 エルプラットは1投2休 ゼローダは14日間内服後7日休薬 PDまで		
その他(特記事項など) ・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始する。 体表面積 1.36未満：1,200mg、1.36以上1.66未満：1,500mg、1.66以上1.96未満：1,800mg 1.96以上：2,100mg ・ハーセプチンは初回90分で点滴し、忍容性に問題なければ2回目以降、30分で点滴可能 ・ハーセプチンは次回点滴予定日より1週間以上遅れて開始(day30以降)する場合は、初回量(8mg/kg)投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
XELIRI	大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mgバッグ デキサート6.6mg	1 バッグ 1 V	点滴	30分	day 1
②	カンプト点滴静注 生理食塩液	200mg/m ² 500mL	点滴	90分	day 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day 1
⑤	ゼローダ	1600mg/m ² /day (下記参照)	内服		day 1～15
⑥					
1 コースの期間 21日 (3週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他 (特記事項など) ・ゼローダはday 1の夕食後から開始し、day 15の朝食後まで服用後7日間休薬 ・ゼローダの標準投与量は体表面積に合わせて次に基づき投与する。 1,31m ² 未満: 1800mg/日 1,31以上1,69m ² 未満: 2400mg/日 1,69以上2,07m ² 未満: 3000mg/日 2,07m ² 以上: 3600mg/日 ・UGT1A1の遺伝子多型を測定し、ホモ又はダブルヘテロの場合はカンプトの投与量を150mg/m ² に減量する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
XP (Xeloda + CDDP) + ハーセプチン	胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
②	デキサート注6.6mg アロキシバッグ	1V 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
①	ハーセプチン 生理食塩液	6mg/kg (初回8mg/kg) 250mL	点滴 (側管)	90分	day1
②	デキサート注1.65mg 生理食塩液	2A 100mL	点滴 (側管)	30分	day2, 3
③	フロセミド注20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
④	シスプラチン注 生理食塩液	80mg/m ² Total 500mL	点滴 (側管)	4時間	day1
	ゼローダ	下記参照	経口		day1～14
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 ハーセプチン、シスプラチンはday1のみ、 ゼローダはday1の夕から14日間 (day15の朝まで)連続服用後7日間休薬 を1コース PDまで継続		

その他(特記事項など)

- ・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始し、day15の朝食後までとする。
 体表面積 1.36未満：1,200mg、1.36以上1.66未満：1,500mg、1.66以上1.96未満：1,800mg
 1.96以上：2,100mg
- ・ゼローダによるHFSの予防のため、内服開始時より保湿クリームによる皮膚保護を実施する。
- ・ランダ投与開始前日～投与翌日にかけて、5～6000mLのハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。
- ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。イメンドを併用する。
- ・ハーセプチンは初回90分で点滴し、忍容性が良好であれば2回目以降、30分まで短縮可能とする。
- ・ハーセプチンは予定投与日より1週間を超えた後に投与する場合、初回量の8mg/kgを投与する。
- ・その他、休薬及び再開に関する基準等については、ToGA studyの基準に基づき施行する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
アービタックス	EGFR陽性の治癒切除不可能な進行・再発の結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注8mg ポララミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開で (約 5分)	day 1
②	生理食塩液	50mL	点滴	30分	day 1
③	アービタックス注 生理食塩液	250mg/m ² (初回は400mg/m ²) 250mL (初回は500mL)	点滴	60分 (初回は120分)	day 1
④	生理食塩液	50mL	フラッシュ用	250mL/h	day 1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
7日(1週間)			毎週投与 PDまで継続		
その他(特記事項など)					
・投与前のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・初回は400mg/m ² を2時間で、2回目以降は250mg/m ² を1時間かけて点滴する。 ・アービタックス終了後は、同じ速度で生食フラッシュを行い、その後 1時間経過観察とする。 ・アービタックスによるGrade3以上の皮膚症状が発現した場合は、添付文書に基づき、次回からの投与量の調節を行うこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
アービタックス＋FOLFIRI	EGFR陽性の治癒切除不可能な進行・再発の結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ポラミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開で (約 5分)	day 1,8
②	アロキシ注 生理食塩液100mL	1V	点滴	30分	day 1
③	アービタックス注 生理食塩液	250mg/㎡ (初回は400mg/㎡) total 250mL (初回は500mL)	点滴	60分 (初回は 120分)	day 1,8
④	生理食塩液	50mL	フラッシュ用	250mL/h	day 8
⑥	レボホリナート 生理食塩液	200mg/㎡ 250mL	点滴	120分	day 1
側	トポテシン注 生理食塩液	150mg/㎡ 250mL	⑥の側 管から	⑥と同時に 開始し90分 で	day 1
⑦	5-FU 生理食塩液	400mg/㎡ 50mL	点滴	全開で	day 1
⑧	5-FU 生理食塩液	2400mg/㎡ total 92mL	インフュー ザーポン プ	46時間	day 1
1コースの期間 14日(2週間)			投与スケジュール及び総コース数 アービタックスは毎週投与 FOLFIRIはbiweeklyで投与 を1コースとしてPDまで継続		
その他(特記事項など) ・アービタックス投与前のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・アービタックスによるG3以上の皮膚症状発現時は、添付文書に基づき、投与量の調節を行うこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
アービタックス+biweekly CPT-11	EGFR陽性の治癒切除不可能な進行・再発の結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注8mg ポラミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開で (約 5分)	day 1,8,15,22,29,36,43
②	カイトリルバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1,15,29
②	生理食塩液	50mL	点滴	30分	day 8,22,,36,43
③	アービタックス注 生理食塩液	250mg/㎡ (初回は400mg/㎡) 250mL (初回は500mL)	点滴	60分 (初回は 120分)	day 1,8,15,22,29,36,43
④	生理食塩液	100mL	フラッシュ用	250mL/h	day 1,15,29
④	生理食塩液	50mL	フラッシュ用	250mL/h	day 8,22,,36,43
⑤	経過観察			1時間以上	day 1,8,15,22,29,36,43
⑥	トポテシン注 生理食塩液	150mg/㎡ 500mL	点滴	90分	day 1,15,29
1コースの期間 50日(7週間)			投与スケジュール及び総コース数 アービタックスは毎週投与 トポテシンはbiweeklyで3回投与後3週間休薬 を1コースとしてPDまで継続		
その他(特記事項など) ・アービタックス投与前のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・アービタックス終了後は、同じ速度で生食フラッシュを行い、その後経過観察とする。なお、 day8,22,,36,43はフラッシュ終了後は抜針し、経過観察とする。 ・アービタックスによるGrade3以上の皮膚症状が発現した場合は、添付文書に基づき、次回からの投 与量の調節を行うこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
アービタックス＋CPT－11	EGFR陽性の治癒切除不可能な進行・再発の結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ポララミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 3A 1A 50mL	点滴	全開で (約 5分)	day 1,8,15,22,29,36
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1,8,15,22
②	生理食塩液	50mL	点滴	30分	day 29,36
③	アービタックス注 生理食塩液	250mg/m ² (初回は400mg/m ²) 250mL (初回は500mL)	点滴	60分 (初回は120分)	day 1,8,15,22,29,36
④	生理食塩液	100mL	フラッシュ用	250mL/h	day 1,8,15,22,29,36
⑤	経過観察			1時間以上	day 1,8,15,22,29,36
⑥	カンプト 生理食塩液	100mg/m ² 500mL	点滴	90分	day 1,8,15,22
1コースの期間 42日(6週間)			投与スケジュール及び総コース数 アービタックスは毎週投与 トポテシンは4投2休として繰り返す。 PDまで継続		
その他(特記事項など) ・アービタックス投与前のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・アービタックス終了後は、同じ速度で生食フラッシュを行い、その後経過観察とする。なお、day29,36はフラッシュ終了後は抜針し、経過観察とする。 ・アービタックスによるGrade3以上の皮膚症状が発現した場合は、添付文書に基づき、次回からの投与量の調節を行うこと。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 アイソボリン/5-FU 動注併用	大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	セロトーン注10mg 5%ブドウ糖液	1A 100mL	点滴	30分	day 1,8,15,22,29,36
②	アイソボリン ヴィーンD	250mg/m ² 500mL	点滴	120分	day 1,8,15,22,29,36
③	5-FU	250mg	動注	②開始1時間 後に動注	day 1,8,15,22,29,36
④	5-FU	600mg/m ² -250mg	静注	②開始1時間 後に静注	day 1,8,15,22,29,36
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
56日間(8週間)			weekly投与。6投2休で1クールとして繰り返す。 PDまで継続。		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 アイソボリン/5-FU	大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	セロトーン注10mg 5%ブドウ糖液	1A 100mL	点滴	30分	day 1,8,15,22,29,36
②	アイソボリン ヴィーンD	250mg/m ² 500mL	点滴	120分	day 1,8,15,22,29,36
③	5-FU	600mg/m ²	静注	②開始1時間 後に側管から	day 1,8,15,22,29,36
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間 8週間(6投2休)			投与スケジュール及び総コース数 weekly投与。6投2休で1クールとして繰り返す。 StageⅢaには3クール、Ⅲbには6クール、再発・ 進行癌にはPDまで継続。		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 アイソボリン/5-FU/CPT-11 動注併用	大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	セロトーン注10mg 5%ブドウ糖液	1A 100mL	点滴	30分	day 1,8,15,22,29,36
②	アイソボリン ヴィーンD	250mg/m ² 500mL	点滴	120分	day 1,8,15,22,29,36
③	5-FU	250mg	動注	②開始1時間 後に動注	day 1,8,15,22,29,36
④	5-FU	600mg/m ² -250mg	静注	②開始1時間 後に静注	day 1,8,15,22,29,36
⑤	CPT-11 5%ブドウ糖液	80-100mg/m ² 500mL	静注	②開始1時間 後、5-FU iv後 に120分かけ て静注	day1,15,29
1コースの期間 56日間(8週間)			投与スケジュール及び総コース数 weekly投与。6投2休で1クールとして繰り返す。 その間CPT-11は隔週投与。PDまで継続。		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 アイソボリン/5-FU/CPT-11	大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	セロトーン注10mg 5%ブドウ糖液	1A 100mL	点滴	30分	day 1,8,15,22,29,36
②	アイソボリン ヴィーンD	250mg/m ² 500mL	点滴	120分	day 1,8,15,22,29,36
③	5-FU	600mg/m ²	静注	②開始1時間 後に側管から	day 1,8,15,22,29,36
④	カンプト 5%ブドウ糖液	80-100mg/m ² 500mL	点滴	②開始1時間 後、5-Fu iv後 に側管から 120分かけて	day 1,15,29
⑤					
1コースの期間 56日間(8週間)			投与スケジュール及び総コース数 weekly投与。6投2休で1クールとして繰り返す。 その間CPT-11は隔週投与。PDまで継続。		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
アブラキサン+ゲムシタビン療法	膵癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ0.75m g	1袋	点滴	全開	d a y 1, 8, 15
②	デキサート注 生理食塩液	6.6m g 100mL	点滴	30分	d a y 1, 8, 15
③	アブラキサン 生理食塩液	125mg/m ² 100mL	点滴	30分	d a y 1, 8, 15
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	d a y 1, 8, 15
⑤	ジェムザール 生理食塩液	1000m g /m ² 100mL	点滴	30分	d a y 1, 8, 15
⑥	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	d a y 1, 8, 15
1 コースの期間 2 8 日（4 週間）			投与スケジュール及び総コース数 4 週間を1 コース（3 投1 休）として繰り返す。 PDまで継続		
その他（特記事項など） ・ 必要時Day 2 ～ 3 にデカドロン錠 4 m g （1 日 1 回）を経口投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ザノサー	膵・消化管神経内分泌腫瘍	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	フィジオ140	500mL	点滴	60分	day1
	フィジオ140	500mL	点滴	60分	day1
②	デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg アロキシバック	1V 2A 1袋	点滴	30分	day1
③	ザノサー 生理食塩液	1000～1500mg/㎡ 500mL	点滴	60分	day1
④	フィジオ140	500mL	点滴	60分	day1
1コースの期間 7日間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) イメンド併用					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
GEM2投1休+TS-1併用療法	膵臓癌 胆道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前化学療法 ☐ 術後化学療法 ☐ 大量化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ0.75mg デキサート注 生理食塩液	1袋 3.3mg 100mL	点滴	30分	day1.8
②	ジェムザール注 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴	30分	day1.8
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1.8
④	TS-1	80mg/m ²	内服		下記参照
⑤					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日(3週間)			PDまで		

その他(特記事項など)

- ・TS-1は連日内服の場合、下記の量を朝夕食後1日2回に分割し、day1～14内服。
体表面積 1.25未満 : 60mg、1.25以上1.5未満 : 80mg、1.5以上 : 100mg TS-1は下記の量を朝夕食後1日2回に分割し、day1～14日間連日内服を行う。
- ・忍容性に問題がなければ、2コース目からは、TS-1の量を下記に増量可能とする。
体表面積 1.25未満 : 80mg、1.25以上1.5未満 : 100mg、1.5以上 : 120mg
- ・膵臓癌については、TS-1は、連日内服による副作用軽減を目的とする場合、隔日投与(月・水・金・日内服)で行う場合もあり。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 ジェムザール3投1休	膵臓癌 胆管癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1,8,15
②	ジェムザール 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴	30分	day 1,8,15
③					
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日間(4週間)			PDまで継続 アジュバント療法には6コース		

その他(特記事項など)

患者によって必要時、デカドロン注をグラニセトロンに混合し、前投与する場合有り

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ニボルマブ	胃癌 食道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	オブジーボ 生理食塩液	240mg/body 100mL	点滴	30分	day1
②	生理食塩液（フラッシュ）	50mL	点滴	15分	day1
1コースの期間 14日（2週間）			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		
その他（特記事項など） インラインフィルター（0.2または0.22 μ m）を使用して投与する。 infusion reactionを認めた場合は、次サイクルより前投薬の追加を考慮する。 4週間間隔で投与する場合は、480mg/bodyとする。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ニボルマブ＋イピリムマブ併用療法	がん化学療法後に増悪したMSI-Hを有する結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生食50mL ポララミン5mg	1瓶 1A	点滴	15分	day1
②	オプジーボ 生食100mL	240mg/body 76mL	点滴	30分	day1
③	生食50mL	1瓶	点滴	30分	day1
④	ヤーボイ 生食50mL	1mg/kg 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	生食50mL	1瓶	フラッシュ	5分	day1
⑥					
1 コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 3週ごとに計4コース実施 以後維持療法としてニボルマブ単剤を繰り返す		

その他（特記事項など）

- ・ フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤、オキサリプラチン及びイリノテカン塩酸塩水和物 による化学療法歴があること
- ・ ニボルマブ、イピリムマブ共にインラインフィルター使用
- ・ イピリムマブは1～4mg/mLの濃度になるように調製
- ・ 維持療法は、ニボルマブ240mg/bodyを2週間間隔もしくはニボルマブ480mg/bodyを4週間隔で施行する。

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ニボルマブ＋イピリムマブ併用療法	根治切除不能な 進行・再発の食道 癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1,22
②	オプジーボ 生理食塩液100mL	360mg/body 1瓶	点滴	30分	day1,22
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	30分	day1,22
④	ヤーボイ 生理食塩液50mL	1mg/kg 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
6週（42日）			PDまで		
その他（特記事項など）					
・1次治療のみ					
・インラインフィルター（0.2または0.22 μ m）を使用して投与する					
・ヤーボイは合計40mLになるように調製する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベクティビックス＋CPT-11	結腸・直腸がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンパッꜱ 3mg デカドロン	1 袋 6. 6mg	点滴	30分	d a y 1
②	ベクティビックス 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴	60分	d a y 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	15分	d a y 1
④	トポテシン 生理食塩液	150mg/m ² 500mL	点滴	90分	d a y 1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	全開	d a y 1
1 コースの期間 1 4 日（2 週間）			投与スケジュール及び総コース数 1 投 1 休で繰り返す P D まで		
その他（特記事項など） ・本レジメンはKRAS wild-typeの症例に対してのみ使用する。 ・ベクティビックス投与時は、インラインフィルターを使用する。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベクティビックス単剤	大腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	ベクティビックス 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴	60分	day 1
②					
③					
④					
⑤					
1 コースの期間 14日間（2週）			投与スケジュール及び総コース数 2週間を1コースとして PDまで繰り返す		
その他（特記事項など） ・ベクティビックス投与時は、0.2μmのインラインフィルターを使用する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+mFOLFOX6	結腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ注0.75mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg／kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg／m ² 250mL	点滴	120分	day1
④	エルプラット 5%ブドウ糖	85mg／m ² 250mL	③の側管 から点滴	③と同時に開 始し120分で	day1
⑤	5－FU 生理食塩液	400mg／m ² 50mL	点滴	15分以内 (全開)	day1
⑥	5－FU 生理食塩液	2400mg／m ² total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1～3
1コースの期間 14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		
その他(特記事項など) ・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ラムシルマブ+FOLFIRI	治癒切除不能な 進行・再発の結 腸・直腸癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法 ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサト注6.6mg ホラムシ注5mg アキシパグ	1V 1A 50ml	点滴	30分	day1
②	サイラムザ 生理食塩液	8mg/kg 250ml	点滴	60分	day1
③	生理食塩液	100ml	点滴	60分 (観察期間)	day1
④	レボリナート 生理食塩液	200mg/m2 250ml	点滴	120分	day1
⑤	カンフト 生理食塩液	150mg/m2 250ml	⑤の側管から 点滴	⑤と同時に 開始し90分 で	day1
⑥	5-FU 生理食塩液	400mg/m2 50ml	点滴	15分以内 (全開で)	day1
⑦	5-FU 生理食塩液	2400mg/m2 total 92ml	インフュー ザーポン プ	46時間	day1～3
1 コースの期間 2週（14日）			投与スケジュール及び総コース数 PD又は容認しがたい毒性が発現するまで継続		
その他（特記事項など） ・最初の1サイクルIR観察期間 ・2サイクル以降IR観察期間省略可 ・2nd ライン以降での処方					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ラムシルマブ+イリノテカン併用療法	根治切除不能な 進行・再発胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩水	1瓶 1A 1A 50ml	点滴	全開	day 1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1
③	ラムシルマブ 生理食塩水	8mg/kg 250ml	点滴	60分	day 1
④	生理食塩水	100ml	点滴	60分 (観察期間)	day 1
⑤	イリノテカン 生理食塩水	150mg/m2 500ml	点滴	90分	day 1
⑥	生理食塩水	50ml	点滴	フラッシュ	day 1
1コースの期間 14日間(2週)			投与スケジュール及び総コース数 2週間を1クールとして繰り返す PDまで継続		
根治切除不能な進行・再発の胃癌 2次治療 ④は、2回目以降観察期間省略可					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ラムシルマブ+パクリタキセル療法	治癒切除不能な 進行・再発の胃 癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキスト注 ガスター注20mg ホウラン注5mg 生理食塩液	6. 6ml 1A 1A 50ml	点滴	全開	day1, 8, 15
②	グラニセロンパッ 3mg	1袋	点滴	30分	day1, 8, 15
③	サイラムザ 生理食塩液	8mg/kg 250ml	点滴	60分	day1, 15
④	生理食塩液	100ml	点滴	60分 (観察期 間)	day1, 15
⑤	パクリタキセル 生理食塩液	80mg/m2 250ml	点滴	60分	day1, 8, 15
⑥	生理食塩液	50ml	点滴	フラッシュ	day1, 8, 15
1 コースの期間 4週 (28日)			投与スケジュール及び総コース数 サイラムザは2週間に1回 (day1, 15)、パクリタキセルは 毎週 (day1, 8, 15) 4週を1クールとして繰り返 す PD又は容認しがたい毒性が発現するまで継続		
その他 (特記事項など) ・サイラムザ初回投与時、IR観察期間 ・サイラムザ2回目以降IR観察期間省略可					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ラムシルマブ+ロンサーフ併用療法	治癒切除不能な 進行・再発胃癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩水 ポララミン注	250ml 5mg	点滴	全開	day 1,15
②	生理食塩水 ラムシルマブ	250ml 8mg/kg	点滴	60分	day 1,15
③	生理食塩水	100ml	点滴	60分 (観察期間)	day 1,15
	ロンサーフ	35mg/m ² /回 1日2回	経口		day1-5,8-12
1コースの期間 28日間(4週)			投与スケジュール及び総コース数 4週間を1クールとして繰り返す PDまで継続		

根治切除不能な進行・再発の胃癌 2次治療以降
③は、2回目以降省略可

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ラムシルマブ療法	胃がん 肝細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	ホ® ラミン注5mg 生理食塩液	1A 50ml	点滴	全開	day1
②	サイラムザ 生理食塩液	8mg/kg 250ml	点滴	60分	day1
③	生理食塩液	50ml	点滴	フラッシュ	day1
④					
⑤					
⑥					
1 コースの期間 2週（14日）			投与スケジュール及び総コース数 2週間に1回投与 PDまで		
その他（特記事項など） ・ 初回、2回目投与時までは、サイラムザ終了後1時間経過観察を行う。 ・ サイラムザ投与時インラインフィルター使用 ・ 投与開始時、AFP400以上					